

沖縄総合事務局開発建設部事業評価監視委員会議事要旨（平成22年度 第1回）

1. 開催日時：平成22年8月5日（木）13：30～15：00

2. 場所：那覇第2地方合同庁舎2号館 4階 事業審査室

3. 出席者：○委員 有住 康則 琉球大学工学部教授
大城 保 沖縄国際大学経済学部教授
立原 一憲 琉球大学理学部准教授
前泊 博盛 琉球新報社 論説委員長

（敬称略：五十音順）

○沖縄総合事務局 次長、開発建設部長、企画調整官 ほか

4. 事務局説明：沖縄総合事務局開発建設部事業評価監視委員会規則の改正について

○平成22年 4月 1日に国土交通事務次官よりの通達を受けて改正を行う。

- ・直轄事業負担金の負担者である沖縄県への意見徴収導入
- ・再評価サイクルの短縮

5. 審議

【議事要旨】

○沖縄北西部河川総合開発事業（大保ダム、奥間ダム、比地ダム）

- ・対応方針（原案）に対して審議を行なった結果、「見直し継続」で了承された。
（大保ダム継続、奥間ダム中止、比地ダム着手しない）
（委員からの主な意見）
特になし

○那覇港浦添ふ頭地区臨港道路整備事業

- ・対応方針（原案）に対して審議を行なった結果、「事業継続」で了承された。
（委員からの主な意見）
特になし

【その他】

今後のB/Cの算出の際に環境という評価をどのように入れ込んでいくのかが検討課題ではないか。